鈴鹿工業高等専門学校	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	インターンシップ

科目基礎情報

科目番号	0024	科目区分	専門 / 選択
授業形態	実験・実習	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	材料工学科	対象学年	1
開設期	集中	週時間数	
教科書/教材	教科書：特になし，参考書：インターンシップの手引き		
担当教員	各学年 担任		

到達目標

社会との密接な接触を通じて，技術者として必要な資質と実践的技術感覚を体得し，それらを日報や報告書にまとめ，それらをもとに，発表資料を作成し，それを伝えられる．

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	担当者の指導の下，自ら進んで実習を遂行できる．	担当者の指導の下，実習を遂行できる．	担当者の指導の下，実習を遂行できない．
評価項目2	実習内容を的確にまとめた報告書を作成できる．	実習内容をまとめた報告書を作成できる．	実習内容をまとめた報告書を作成できない．
評価項目3	実習内容を的確に整理して発表できる．	実習内容を整理して発表できる．	実習内容を発表できない．

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	社会との密接な接触を通じて，技術者として必要な資質と実践的技術感覚を体得する．
授業の進め方・方法	・すべての授業内容は，内容は，学習・教育到達目標(B)＜展開＞に対応する． ・「授業計画」における各週の「到達目標」はこの授業で習得する「知識・能力」に相当するものとする． ・次のインターンシップ機関(以下，実習機関)，内容および期間で実務上の問題点と課題を体験し，日報，報告書，発表資料を作成し，発表を行う． 【実習機関】高専機構が案内する海外・国内インターンシップのほか，学生の指導が担当可能な企業または公共団体の機関で教務委員会を経て校長が認めた機関への実習とする． 【内容】第1学年から第3学年の学生が従事できる実務のうち，インターンシップの目的にふさわしい業務 【期間】授業に支障のない夏季休業中等の実働5日以上 【日報】毎日，日報を作成すること． 【課題】インターンシップ終了後に，報告書を作成し提出すること． 【発表】インターンシップ発表会を開催するので，発表資料を作成し，発表準備を行うこと．
注意点	＜到達目標の評価方法と基準＞下記授業計画の「到達目標」1～6の習得具合を勤務状況，勤務態度，日報，報告書および発表の項目を総合して評価する．評価に対する「知識・能力」の各項目の重みは同じである． ＜学業成績の評価方法および評価基準＞「インターンシップの成績評価基準」に定められた配点に従って，勤務状況，勤務態度，日報，報告書および発表により成績を評価する． ＜単位修得条件＞総合評価で「可」以上を取得すること． ＜あらかじめ要求される基礎知識の範囲＞心得(時間の厳守(10分前集合)，挨拶，お礼など) ＜レポートなど＞日報は，毎日，作成し，報告書も作成し，実習指導責任者の検印を受けて，インターンシップ終了後に，担任に提出すること．発表会用に発表資料および発表の準備をすること． ＜備考＞インターンシップの内容は，第1学年から第3学年の学生が従事できる実務のうち，インターンシップの目的にふさわしい業務であること．実習機関の規則を厳守すること．評定書を最終日に受け取ったら，担任に提出すること．インターンシップの手引き，筆記用具，メモ帳(手帳)，日報，実習先から指定されている物，評定書を持参すること．なお，本インターンシップにおける取得単位は，第1学年から第3学年を通じて，最大1単位とする．

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		1. 技術者として必要な資質が分かり，それらを体得できる．
		2週		2. 実践的技術感覚が分かり，それらを体得できる．
		3週		3. 体得したことを日報にまとめることができる．
		4週		4. 体得したことを報告書にまとめることができる．
		5週		5. 体得したことを発表資料にすることができる．
		6週		6. 体得したことを発表し，質疑応答することができる．
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		

		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合			
	取り組み状況及び報告内容	合計	
総合評価割合	100	100	
配点	100	100	